

安城市地震対策アクションプラン(案)パブリックコメント意見募集結果

1. 募集期間 平成28年12月15日～平成29年1月13日
2. 意見提出数 67件
3. 意見内容 下記のとおり 対応(A=7件、B=0件、C=45件、D=15件)

パブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

＜対応＞
A:ご意見を受けて加筆・修正したもの
B:ご意見の考え方が現行案に概ね含まれていたもの
C:現行案通りとしたもの
D:案に関連する質問など

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
1	—	—	—	全般	市民アンケート結果や安城市減災まちづくり研究会の検討結果を踏まえた、大変良く研究、検討されて作成された「プラン(案)」であると思います。 特に、アクション項目の「事業計画」の多くで「現状(値)」と「目標(値)」が記載されていることは特筆すべきことと思います。 但し、安城市自治基本条例で定める「市民参加」、「市民協働」、「情報公開」の視点が欠落しているのではと思います。このため、更に良いプランとするため、以下の通りコメントさせていただきます。	ご指摘の主旨を踏まえ、以下個別に回答いたします。	D	—
2	—	—	—	1頁 1. 計画の背景 (1)南海トラフ地震における被害想定	「国の中央防災会議では、…。愛知県の防災会議では、…」とあります。しかし、本プラン(案)中には「安城市防災会議」が登場しません。安城市の防災や本プランには「安城市防災会議」は全く無関係ということでしょうか。関係が有るとすればどのような関係でしょうか。本プランに記載すべきではないでしょうか。 防災に関する審議会等は「安城市防災会議」以外にあるのでしょうか。「安城市防災会議」が関わらないとすれば、本プランのPDCAサイクルは何処が回すのでしょうか。市民参加なしの庁内の密室で回すのでしょうか。その結果は、市民には情報公開されないのでしょうか。情報公開されるのであれば、何時どのような方法で行われるのか、本プランに記載すべきではないでしょうか。	地震対策アクションプランは、市の防災に関する唯一の審議会である安城市防災会議にて策定される地域防災計画において本プランを作成することを定めております。PDCAについては、市において毎年の進捗状況を把握し、中間年(平成31年度)には、社会状況等の変化を踏まえ見直しを行います。また、これらPDCAの結果については市公式ウェブサイトで情報公開いたします。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
3	—	—	—	4頁 2. 本市の地震防災 (2)これまでの本市の地域防災	「…また、自主防災組織…で構成される安城市減災まちづくり研究会も…」とあります。本研究会の会則・役員名簿・会員名簿・議事録等は、安城市の公式ホームページで情報公開されていますか。本プラン(案)に掲載され、市民を代表して唯一本プラン(案)の作成に関わっている組織であれば、その活動内容は、情報公開の対象であってしかるべき情報と思いますが、如何でしょうか。	現在、本研究会は専用サイトの構築を行っている状況であり、今後、当サイトのオープン化に向けて検討しております。	D	—
4	—	—	—	5頁 3. 地震モデルと対応の方向性 (1)地震モデルの概要	「…そのモデルに対する被害想定を平成27年3月に公表した。」とあります。安城市の公式ホームページに掲載されていますか。ホームページ又はホームページにリンク先が掲示されていなければ、公表したといわれても一般市民が確認することは難しいのではないのでしょうか。	市公式ウェブサイトに公開しております。 https://www.city.anjo.aichi.jp/kurasu/bosaibohan/yakudachi/yosokuchosa.html	D	—

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
5	—	—	—	9頁 4. 市民から見た本市の地震防災 (1)市民アンケート 問18	棒グラフは、多い項目から少ない項目の順に並べて頂くと、一目で理解しやすいと思います。今の表示では一番目はどれかな、二番目はどれかな、三番目はどれかな、と捜さなければならず、読者に余分な作業を強要します。読者にわかり易い表示をお願い致します。	分かり易い表示とするために、文章中の棒グラフの表示を修正いたします。	A	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基 づき、表示を修正させていただきます。
6	—	—	—	11頁 4. 市民から見た本市の地震防災 (2)安城市減災まちづくり研究会	「…約60の団体と有ります。なぜ約60なのでしょう か。約60とする意味は何でしょうか。設立時の登録 団体の数を正確に把握できていない、ということ でしょうか。	設立時の団体数は、正確には69団体です ので修正いたします。	A	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基 づき、表示を修正させていただきます。
7	—	—	—	12頁 5. 目的及び施策の体 系 プラン(案)の「策定体 制(パブリックコメント に付す迄のプロセ ス)」について	本プラン(案)は、何時誰が作成し、どのような審議 が行われ、パブリックコメントに付されたものでし ょうか。総合計画等では、その策定体制が記載され ていると思います。本プラン(案)の策定体制は「非公開 情報」でしょうか。「非公開情報」でなければ、本プ ランに記載すべきではないでしょうか。策定体制を本 プランに記載しないことは、情報公開に対する姿勢を 疑われないでしょうか。本プランは密室で策定され、 決められたということでしょうか。	巻末「9. 資料」に、策定体制及び主な経過 を記載いたします。	A	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基 づき、資料を追加させていただきます。
8	—	—	—	12頁 5. 目的及び施策の体 系 プランの「策定体制 (パブリックコメントか ら発行迄のプロセス)」 について	提出されたコメントは何時誰がどのように検討し、 本プランへの採否を決定し、最終的に本プランは発 行されるのでしょうか。総合計画等では、その体制 が記載されていると思います。本プラン(案)の策定 体制は「非公開情報」でしょうか。「非公開情報」で なければ、本プランに記載すべきではないでしょうか。 策定体制を本プランに記載しないことは、情報公開 に対する姿勢を疑われないでしょうか。パブリックコ メントの内容は密室で検討され、採否が決定される のでしょうか。	提出いただきましたコメントについては、意 見募集期間終了後、庁内関係部署にて内 容検討を行い対応しております。 また、本プラン(案)の策定体制に関しては、 巻末「9. 資料」に、策定体制及び主な経過 を記載いたします。	A	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基 づき、資料を追加させていただきます。
9	—	—	—	14頁 5. 目的及び施策の体 系 4) 施策の体系 ■ 対策の柱	「対策の柱」と16頁「減災目標」と17頁「具体的な目 標」との関係はどのように繋がっているのしょう か。つながりが理解できません。なぜ、目標(理念) や減災目標の前に対策／施策の体系が出てくるの でしょうか。これは、先に対策／施策(アクション項 目)ありきで、対策／施策の正当性を理由づけるた めに具体的な目標値が後付でできているからではな いでしょうか。本来、この目標(値)を達成するた めに、この対策／施策を実施する。この対策／施策を 実施することにより、この目標値を実現する、とい う繋がりで説明して頂けていないため、「対策の柱」及 び施策(アクション項目)が目標値と繋がらないの ではと思いますが、如何でしょうか。	目標(理念)や対策の柱、アクション項目等 の関係については、13頁の施策体系にお いて示しているとおりで、14頁～17頁にお いて、その詳細を説明しております。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基 づき、計画の内容は従前のままとさせて いただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
10	—	—	—	16頁 5. 目的及び施策の体系 (5)進捗管理 プランの「PDCAマネジメントサイクル(年度実施計画に対する確認体制)」について	「取り組みの進捗状況を把握するため、…」とあります。この記述からは、庁内の閉鎖的な空間でのみ進捗管理されると読み取れます。進捗状況は第三者によるチェック(市民参加)や市民への情報公開はされないのでしょうか。第三者によるチェック(市民参加)や市民への情報公開は、安城市自治基本条例の主旨から極めて重要なことと思います。PDCAマネジメントサイクル体制の本プランへの記載が必要ではないのでしょうか。庁外のチェックは全く受けないのでしょうか。	第三者によるチェックの実施は考えておりませんが、進捗状況を市公式ウェブサイトに掲載し情報公開を行います。また、PDCAマネジメントサイクル体制の本プランへの記載は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
11	—	—	—	16頁 5. 目的及び施策の体系 (5)進捗管理 プランの「PDCAマネジメントサイクル(計画中間での見直し体制)」について	「…また、中間年(平成31年度)に現状の対策内容の充実強化や…」とあります。この記述からは「庁内の閉鎖的な空間での見直しをする」と読み取れますが、中間時点での見直しは、本プラン策定と同様、第三者によるチェック(市民参加)や市民への情報公開はされないのでしょうか。第三者によるチェック(市民参加)や計画の見直しや市民への情報公開は、安城市自治基本条例の主旨から極めて重要なことと思います。PDCAマネジメントサイクル体制の本プランへの記載が必要ではないのでしょうか。庁外のチェックは全く受けないのでしょうか。	第三者によるチェックの実施は考えておりませんが、進捗状況及び中間時点での見直し内容を市公式ウェブサイトに掲載し情報公開を行います。また、PDCAマネジメントサイクル体制の本プランへの記載は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
12	—	—	—	16頁 6. 目標(理念)及び減災目標 (1)目標(理念)	目標(理念)として「地震から市民の生命・財産を守る強靱なまちづくり」とありますが、これはキャッチフレーズではないのでしょうか。ここで記載すべき内容は、このようなキャッチフレーズでしょうか。 本プランで述べるべきこと、抜けていることは「プラン制定の基本的な考え方や方針」ではないでしょうか。「1. 計画の背景」等を読んでいますと「国が計画を策定し、県も計画を策定したので、安城市も仕方なく本プランを策定した」といっているとしか読とれません。そうではなくて、安城市役所ができることは「公助」としてしっかりと本プランに従って取り組みます。しかし、本プランを安城市役所が「公助」としてきちんと対策しても、市民の皆さんの「自助」と町内会等の「共助」が実施されなければ「災害目標」を実現することはできない、ということをしっかりと記載すべきではないのでしょうか。安城市役所がいくら補助金制度を設けても、啓発活動をして、市民ひとり一人や町内会等が具体的な防災・減災対策を実施しなければ、最終的な対策は実施されないわけですから。	目標(理念)は本市の防災・減災対策の目指すべき姿を示しております。また、本プラン(案)では、公助が行う施策以外にも自助・共助で取り組みを推進していく内容の項目を記載しております。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
13	—	—	—	16頁 6. 目標(理念)及び減災目標 (2)減災目標 「減災目標」と「アクション項目」との関連について	「減災目標」と個々の「アクション項目」との関連が全く不明です。記載された「アクション項目」を100%実施すれば「減災目標」を実現できるのか、その根拠が示されていません。これでは、行政の計画でありがちな「アクション項目(アウトプット)」は100%は達成したけれど「減災目標(アウトカム)」は未達成ということになりかねません。「減災目標(アウトカム)」を掲げ、「アクション項目(アウトプット)」を設定するのであれば、その根拠を示さなければ、「減災目標(アウトカム)」を掲げる意味も、この「アクション項目(アウトプット)」で良いという判断もできません。達成できるかできないのかわからない「減災目標」を掲げ、各課から提出された「アクション項目」を単純に並べたに過ぎないプラン(案)に思えますが、如何でしょうか。 被害想定が算出されていると思います。被害想定はある仮定を基に算出されているのではないかと考えられます。「アクション項目」は、被害想定的前提となる”現状の数値”を”望ましいある数値(具体的な目標?)”に改善することによって、被害想定を軽減させよう、というものではないのでしょうか。そうした検討をせず、ただ思いつきで「アクション項目」を並べているのでしょうか。「アクション項目」を定めた客観的な根拠を資料に明示ください。各課が予算欲しさに明確な根拠の無い「アクション項目」を減災目標(値)とは関係なく並べていると受け取られてしまいます。	減災目標は、一つの施策だけでは達成できず、複数の施策の積み重ねによって達成することができると考えております。本プラン(案)は減災目標達成のために、行政が行う防災・減災に関するさまざまな事業を整理したものです。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
14	—	—	—	17頁 6. 目標(理念)及び減災目標 (3)具体的な目標 「具体的な目標」と「減災目標」との関連について	「具体的な目標」と「減災目標」との関連が全く不明です。記載された「具体的な目標」を100%実施すれば「減災目標」を実現できるのか、その根拠が示されていません。これでは、行政の計画にありがちな「具体的な目標(アウトプット)」は100%達成したけれど「減災目標(アウトカム)」は未達成ということになりかねません。「減災目標(アウトカム)」を掲げ、「具体的な目標(アウトプット)」を設定するのであれば、その根拠を示さなければ、「減災目標(アウトカム)」を掲げる意味も、この「具体的な目標(アウトプット)」で良いという判断もできません。達成できるかできないのかわからない「減災目標」を掲げ、実現できそうな「具体的な目標(アウトプット)」を並べたに過ぎないプラン(案)と思われかねないですが、如何でしょうか。	具体的な目標は、目標(理念)及び減災目標を達成するために、主要な個別の具体目標を整理したものです。東日本大震災や熊本地震から見えた課題への対策など、個別事業の中でも特に重要と考えられる項目として10を具体的目標として整理しております。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
15	—	—	—	17頁 6. 目標(理念)及び減災目標 (3)具体的な目標 「具体的な目標」と「減災目標」との関連について	少なくとも「住宅の耐震化率」と「建物の全壊・焼失棟数」とは密接な関連があるのではと思います。その他の「具体的な目標」も同様です。ただ漠然と目標値を設定されたのでしょうか。資料に目標値の根拠を記載すべきではないでしょうか。	具体的な目標は、東日本大震災や熊本地震から見えた課題への対策など、個別事業の中でも特に重要と考えられる項目として10を具体的目標として整理しております。目標値の根拠については、各個別計画等に基づき設定されているため、プラン(案)への記載は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
16	—	—	—	17頁 6. 目標(理念)及び減災目標 (3)具体的な目標 「具体的な目標」と「アクション項目」との関連について	個々の「アクション項目」の中には、多くの具体的な目標値が記載されています。しかし「具体的な目標」には10の目標値のみが取り上げられています。10の目標値のみを取り上げた理由と根拠は何でしょうか。資料に記載をお願い致します。「…主要な個別の具体目標を…」とあります。「主要な」とは「減災目標」への寄与率の高い上位の10つという意味でしょうか。	具体的な目標は、東日本大震災や熊本自身から見えた課題への対策など、個別事業の中でも特に重要と考えられる項目として10を具体的な目標として整理しております。なお、プラン(案)へのそれらを取り上げた理由と根拠の掲載は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
17	—	—	—	18頁 7. 防災・減災対策の効果 「防災・減災対策の効果」と「減災目標」と「具体的な目標」と「アクション項目」との関連について	5項目の「防災・減災対策の効果」が記載されています。「防災・減災対策の効果」と個々の「アクション項目」や「減災目標」や「具体的な目標」との関係が全く意味不明です。現在の記述では、どの「アクション項目」を実施したら、どのような「防災・減災対策の効果」があり、その結果、どの「減災目標」が達成できるのかが全く理解できません。読者に文書を読み込んで、自分で関連づけて、整理して、理解しない。理解できない読者は理解力が足りない、といっているように思えますが、如何でしょうか。各章の記載内容が全く関連なく羅列されているのみで、論理の一貫性を読み取ることができません。通常は、前の章の記述を受けて、前の章のこの部分が次の章のこの部分に繋がっている、という文書が読者に配慮した文書(理解しやすい文書)ではないのでしょうか。前後の章と全く繋がらない第7章が突如現れることに違和感があります。6つの項目(アクション項目、対策の柱、防災・減災対策の効果、アクション項目の目標値、具体的な目標、減災目標)を一覧表で表すと関連が一目で理解できると思います。最終頁の事例を参照ください。	5つの防災・減災対策の効果については、各分野の総合的な対策の結果が効果として現れることとなるため、その主なものを挙げております。13頁の施策体系に示すとおり、各対策の柱に基づく個別事業の積み重ねにより減災目標が達成できると考えております。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
18	(1)人的被害を最小限に抑える	1-1地震から命を守る	住宅の耐震化・減災化の促進【建築課】	19頁	現状値83%を平成35年に95%にするという目標値を設定している理由とその根拠は何処にあるのでしょうか。理由と根拠を資料に記載頂けないでしょうか。83%を95%にすると、建物の全壊・焼失棟数約1,900棟が約950棟に減少するのでしょうか。死者約70人が10人になるのでしょうか。	95%にするという目標は、安城市建築物耐震改修促進計画に基づき設定しています。個別事業の目標値一つ一つの根拠等についての記載は考えておりません。また、13頁の施策体系に示すとおり、各対策の柱に基づく個別事業の積み重ねにより減災目標が達成できると考えております。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
19	(1)人的被害を最小限に抑える	1-1地震から命を守る	空き家対策の推進【建築課】	19頁	現状値74件(平成27年度)を平成35年度に32件にするという目標値を設定している理由と根拠は何でしょうか。理由と根拠を資料に記載頂けないでしょうか。83%を95%にすると、建物の全壊・焼失棟数約1,900棟が約950棟に減少するのでしょうか。死者約70人が10人になるのでしょうか。	現状値74件を73件に訂正させていただきます。目標値は、第8次安城市総合計画に基づき設定しています。根拠は、過去の実績を基に年間5件程度の減少を想定しています。理由と根拠の記載は考えておりません。また、13頁の施策体系に示すとおり、各対策の柱に基づく個別事業の積み重ねにより減災目標が達成できると考えております。	A	現状値について修正させていただきます。ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
20	(1)人的被害を最小限に抑える	1-1地震から命を守る	公共施設の非構造部材の耐震化等の推進	20頁	平成32年度には、公共施設の非構造部材の耐震化が完了すると判断して良いのでしょうか。	この計画では、非構造部材のうち、市民の利用する施設の特設天井(6m以上の高さにある200㎡以上の天井)については平成32年度までに工事をを行います。	D	—
21	(1)人的被害を最小限に抑える	1-1地震から命を守る	幼稚園・保育園の耐震化の推進【子育て支援課】	21頁	平成35年度目標値14施設とあります。これで全ての長寿命化が完了するということでしょうか。対象がどれだけあって期間中にどれだけ対策し、対策ができないものがどれだけあるかを資料に記載できないでしょうか。このような資料がなければ、この目標値が適切なのかを判断できないと思いますが、如何でしょうか。	計画的改修については、公共建築物保全計画等に基づき保育園全園(23園)、幼稚園全園(4園)を対象に必要な改修をしております。また、そのような資料の記載は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
22	(1)人的被害を最小限に抑える	1-1地震から命を守る	公共施設の事務機器転倒防止対策等の推進【行政課】	21頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょうか。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか、どのようにしてマネジメントサイクルを回すのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	公共施設においては、既に事務機器等の転倒防止対策(キャビネットの壁固定、コピー機等キャスターの床固定)や窓ガラスの飛散防止対策(フィルムの貼付)を実施しております。また、今後、施設の改修等を行った際も、これらの対策を併せて実施してまいります。H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
23	(1)人的被害を最小限に抑える	1-1地震から命を守る	コンクリートブロック塀の地震対策の推進【公園緑地課】	22頁	事業計画に「制度のPR」とあります。どのような制度でしょうか。安城市のホームページに掲載されていますか。又、「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょうか。「計画(P)」のない「実施(D)」で、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか、どのようにしてマネジメントサイクルを回すのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	安城市公式ウェブサイトに掲載しております。 https://www.city.anjo.aichi.jp/kurasu/hojos-eido/ikegaki.html H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
24	(1)人的被害を最小限に抑える	1-3火災から命を守る	出火防止対策の推進【危機管理課】	24頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか、どのようにしてマネジメントサイクルを回すのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
25	(1)人的被害を最小限に抑える	1-4土砂災害等から命を守る	土砂災害対策の推進【危機管理課】	25頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
26	(1)人的被害を最小限に抑える	1-5危険物質から命を守る	事業所の危険物質に対する防災対策の促進【環境都市推進課】	25頁	H30→、H31～H35→となっていますが、意味不明です。H30年度に何を実施し、H31年度～H35年度に何を実施するのでしょうか。	平成30年度に目標値である講習会を実施し、平成31年度以降は継続して講習会を実施します。	D	—
27	(1)人的被害を最小限に抑える	1-6救助活動により命を守る	災害時の救助・負傷者対応体制の強化【危機管理課】	26頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
28	(1)人的被害を最小限に抑える	1-7災害医療活動により命を守る	災害時の医療救護体制の整備【健康推進課】	26頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
29	(1)人的被害を最小限に抑える	1-8救助活動等の交通基盤を整備する	緊急輸送道路等の防災対策の推進【維持管理課、土木課】	27頁	事業計画「緊急輸送道路ネットワークの見直し」は、「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「計画値設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
30	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-1保健・介護機能を守る	子育て世代の防災対策の促進【健康推進課】	29頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。あるいは、これまでも啓発チラシを配っていました、これからもH35年度迄啓発チラシを配ります、という計画なののでしょうか。なんのために啓発チラシを配り、配った結果、どのような効果があり、啓発チラシ配布の有効性(費用対効果)はどうであったのかの検証はされているのでしょうか。啓発チラシの配布が税金の無駄遣いになってはいないでしょうか。どのようにPDCAを回しているのでしょうか。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。啓発チラシは、子どもを持つ家庭に対し、防災対策への保護者の気づきを促すきっかけの一つとして、離乳食講習会の場で配布しております。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
31	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-1保健・介護機能を守る	防疫体制の整備【健康推進課、環境都市推進課】	30頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができているのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
32	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-2生活環境を守る	生活相談への充実【経営管理課、危機管理課】	30頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができているのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
33	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-3水・食料・物資不足から生活を守る	迅速な応急給水体制の確立【危機管理課、水道業務課、水道工務課】	32頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができているのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
34	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-4避難所等での生活を守る	避難所開設・運営対策の推進【危機管理課】	33頁	事業計画「避難所運営マニュアルの見直し及び訓練の実施」は、「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということでは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょうか。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
35	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-4避難所等での生活を守る	避難所外避難者への対策の推進【危機管理課】	33頁	H29～H31迄に方針を検討し、H32年度以降に方針に従って対策を実施する、という理解で宜しいでしょうか。	平成31年度までに車中避難者やテント避難者対策の方針を検討すると共に、対策を講じてまいります。	D	—
36	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-5二次災害から生活を守る	応急危険度判定の実施体制整備【建築課】	36頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということでは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょうか。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
37	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-6仮設住宅・一時的な移転先での生活を守る	応急仮設住宅等の確保【建築課】	37頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということでは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょうか。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
38	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-7帰宅困難者を支援する	帰宅困難者支援対策の推進【危機管理課】	38頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
39	(2)生活への影響を最小限に抑える	2-8教育を守る	学校や保育園・幼稚園における防災対策の推進【学校教育課、子ども課、危機管理課】	38頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
40	(3)社会機能への影響を最小限に抑える	3-1行政機能を守る	発災時に災害対応にあたる職員の確保【危機管理課】	41頁	事業計画「職員に対する啓発」では、「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
41	(3)社会機能への影響を最小限に抑える	3-1行政機能を守る	災害対策本部における迅速な災害対応【危機管理課】	41頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
42	(3)社会機能への影響を最小限に抑える	3-2治安を守る	地域安全活動の推進【市民安全課】	42頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
43	(3)社会機能への影響を最小限に抑える	3-3ライフラインを守る	建設関係部署の連携の強化【維持管理課】	44頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
44	(3)社会機能への影響を最小限に抑える	3-4交通・物流・食料供給機能を守る	橋梁、道路の地震対策の推進【土木課】	45頁	H34年度までに、幹線市道の整備が完了する、と理解してよろしいでしょうか。	平成34年度までに完了する計画です。	D	—

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
45	(3)社会機能への影響を最小限に抑える	3-6経済活動を守る	中小企業の防災対策の推進【商工課】	46頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
46	(4)迅速な復旧・復興を目指す	4-1事前復興、復興方針・体制づくりを進める	復旧復興体制の推進【危機管理課、建築家、都市計画課】	47頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
47	(4)迅速な復旧・復興を目指す	4-1事前復興、復興方針・体制づくりを進める	速やかな生活再建支援の推進【危機管理課】	48頁	事業計画「被災者支援システムを使った訓練実施」では、H30→、H32～H35→となっていますが、意味不明です。H30年度に何を実施し、H31年度～H35年度は何を実施されるのでしょうか。	平成30年度に目標値である被災者支援システムを活用した訓練を実施し、平成31年度以降は継続して訓練を実施します。	D	—
48	(4)迅速な復旧・復興を目指す	4-2災害廃棄物等の円滑な処理を進める	災害廃棄物処理体制の構築【環境都市推進課、ごみゼロ推進課】	49頁	事業計画「環境部による調整会議の開催」では、H29→、H30～H35→となっていますが、意味不明です。H29年度に何を実施し、H30年度～H35年度に何を実施するのでしょうか。	平成29年度に目標値である環境部(環境都市推進課、ごみゼロ推進課)による調整会議を開催し、平成30年度以降も会議を開催します。	D	—

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
49	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	防災コミュニティの推進【危機管理課】	50頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができているのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
50	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	防災・減災啓発活動の充実【危機管理課】	50頁	事業計画「まちかど講座の実施」では、H29→、H30～H35→となっていますが、意味不明です。H29年度に何を実施し、H30年度～H35年度迄は何を実施するのでしょうか。	平成29年度にまちかど講座実施回数目標値を達成し、平成30年度以降は目標値である回数のまちかど講座を継続します。	D	—
51	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	市職員の防災スキルの向上【危機管理課】	51頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができているのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
52	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	市職員の防災スキルの向上	51頁	56アクション項目では「市職員の防災スキルの向上」が取り上げられています。しかし、市施設の多くが指定管理にだされ、市の直営から指定管理者による管理に代わっています。「市職員の防災スキルの向上」も大切であると思います。同様に市民が多く出入りする指定管理者が管理する公共施設の発災時の対応も市民の安全を確保する上で非常に重要な要素ではないかと思います。このため「指定管理者の防災スキルの向上」というアクション項目の追加が必要ではないかと思います。	指定管理者の職員も、毎年実施している非常参集訓練に参加を依頼し、防災スキルを向上させております。56アクション項目の事業概要の中に、「指定管理者の職員も訓練に参加する」旨を記載いたします。	A	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、表示を修正させていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
53	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	消防団の活動充実・強化【危機管理課】	51頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
54	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	防災教育の充実【危機管理課、子ども課】	51頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
55	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	ボランティアによる支援体制の整備【市民協働課、社会福祉協議会】	52頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	災害ボランティアコーディネーターの現状値及び目標値の設定が可能であるため、記載いたします。	A	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容に「災害ボランティアコーディネーター数」という目標指標を新たに設定いたします。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
56	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	外国人に対する防災支援体制の整備【市民協働課、危機管理課】	52頁	事業計画「地域等と連携したまちかど講座の実施」では、H30→、H31～H35→となっていますが、意味不明です。H30年度に何を実施し、H31年度～H35年度に何を実施されるのでしょうか。	平成30年度に目標値である地域等と連携したまちかど講座を実施し、平成31年度以降はまちかど講座を継続します。	D	—
57	(5)防災力を高める	5-1教育啓発・人材育成により防災力を高める	産官学民連携による総合防災訓練の実施【危機管理課】	52頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
58	(5)防災力を高める	5-2物資・設備・空間の充実により防災力を高める	消防団の装備の充実【危機管理課】	53頁	現在はどこも保有していない「双方向の情報伝達が可能な通信装備」「救助活動用資機材」「ゴーグル等の個人装備」を平成30年度迄に全ての分団に配備するということで良いのでしょうか。又、非常食は、H32年度迄に検討し、H33年度以降必要により配備するということでしょうか。	「救助活動用資機材」については、どこの分団も保有していないため平成30年度までに全ての分団に配備することを目標としています。「双方向の情報伝達が可能な通信装備」「ゴーグル等の個人装備」については、全ての分団が保有していますが、保有数が十分でないため増強を行い、装備の充実を図ります。また、非常食については、消防団員用の備蓄が必要か平成32年度までに検討し、必要に応じ平成33年度以降に配備する計画です。	D	—
59	(5)防災力を高める	5-2物資・設備・空間の充実により防災力を高める	マルチコプターの導入活用【危機管理課】	54頁	「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
60	(5)防災力を高める	5-2物資・設備・空間の充実により防災力を高める	公園施設の防災対策の推進【公園緑地課】	55頁	平成35年度迄でほぼ必要とされる公園に災害時のオープンスペースが確保できるということで良いでしょうか。104の公園に確保できた場合の充足率はどの程度になるのでしょうか。又、主要な都市公園にソーラー照明灯が設置されると考えてよろしいのでしょうか。15の公園に設置されると充足率はどの程度になるのでしょうか。	公園の機能の一つとして災害時のオープンスペースの機能を有しており、公園の整備を計画的に進めていくという意味です。また、ソーラー照明灯については、都市公園のうち地区・近隣公園を中心とした設置を考えております。都市公園での充足率は14%程となりますが、地区・近隣公園としての充足率は、56%程になります。	D	—
61	(5)防災力を高める	5-3防災情報の充実により防災力を高める	災害時の情報伝達体制の整備【秘書課、企画情報課】	56頁	事業計画「防災ラジオの世帯普及率」以外では、「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができていなければ、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
62	(5)防災力を高める	5-3防災情報の充実により防災力を高める	外国人に対する情報提供体制の整備【市民協働課】	57頁	現状値145人に対して平成35年度目標値290人と設定する理由と根拠は何でしょうか。平成35年度290人での充足率は100%と考えてよいのでしょうか	外国人住民が主な対象である市民協働課運営のフェイスブック「安城市Anjo-info」の目標値は現状値の2倍で設定しましたが「充足率」の母数の定義はありません。「情報の拡散」はフェイスブックの特長ですが、これを通じて防災力を高めるための情報発信の充実を図るとともに、フェイスブックの改善を通じて、外国人住民にとって一層役立ち、魅力ある内容とすることを目指し、目標値達成後も登録者数が増えるよう引き続き改善を重ねます。	D	—
63	(5)防災力を高める	5-4仕組み・制度の構築により防災力を高める	安城市減災まちづくり研究会の取り組みによる地域防災力の向上【危機管理課】	58頁	事業計画「研究会の実施」は、「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)の課題(＝現状とありたい姿の差)を把握できていないということでしょうか。現状把握ができていなければ、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていなければ、H29年度は「現状の課題把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょう。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。

番号	対策の柱	対策のターゲット	アクション項目	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	対応	計画への反映
64	(5)防災力を高める	5-4仕組み・制度の構築により防災力を高める	広域的な受援体制の充実【危機管理課】	58頁	事業計画「受援計画の策定」以外では、「現状(値)」の記載も「目標(値)」の記載もなく、ただ、H29～H35迄矢印が引いてあるのみの計画です。未だに何の対策も取られていないのでしょうか。「現状(値)」の記載がないということは、現状(値)さえ把握できていないということでしょうか。現状把握ができているのであれば、現状を記載すべきではないでしょうか。逆に現状を把握できていないのであれば、H29年度は「現状把握」と記載し、H30年度は「目標(値)設定」、H31年度～「実施」と記載すべきではないでしょうか。「計画(P)」のない「実施(D)」では、どのようにして「チェック(C)」し、「アクション(A)」をとるのでしょうか。現状が把握できているのであれば「現状(値)」と「目標(値)」を記載ください。	H29～H35迄矢印が引いてあるのは、現在行っている事業を継続して今後も実施していくことを示しています。そのため、目標値等の設定は考えておりません。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
65	(5)防災力を高める	5-4仕組み・制度の構築により防災力を高める	消防団機能別団員の強化【危機管理課】	59頁	30人→90人の理由と根拠はどこにあるのでしょうか。現在の機能別団員30人の具体的な活動内容はなんのでしょうか。通常の分団の中に機能別団員がみえるのでしょうか、通常の分団とは別に組織化されているのでしょうか。今後、具体的にはどのような活動を想定されているのでしょうか。工夫の仕方によっては、有効な仕組みではないかと思いますが。	安城市消防団条例において機能別団員の定数を90人と定めております。現在の機能別団員の具体的な活動は、大規模災害に備え、高度な専門知識や技能を得るための研修や訓練を行っております。本市では、分団の経験者か特殊な技能を有していると団長が認める者を、基本団員とは別に採用しております。今後の活動としては、基本団員や自主防災組織の指導などを想定しております。	D	—
66	(5)防災力を高める	5-4仕組み・制度の構築により防災力を高める	災害対策本部の組織体制の再構築【危機管理課】	59頁	具体的にはどのようなことを想定されているのでしょうか。H29、H30、H31のマイルストーンはどこに置かれているのでしょうか。本プランに記載すべきではないでしょうか。	3年をかけて現在の市の災害時体制の課題・問題点を整理し、行政機能の確保や避難所の安定運営等のために組織体制を再構築します。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。
67	(5)防災力を高める	5-4仕組み・制度の構築により防災力を高める	アクションプランのフォローアップ【危機管理課】	59頁	庁内の密室でのフォローアップと読めますが、第三者や市民によるフォローアップ(市民参加)や情報公開はされないのでしょうか。されるのであれば、どのような体制でPDCAサイクルをまわすのでしょうか。その体制を本プランに記載すべきではないでしょうか。	第三者や市民によるフォローアップの実施は考えておりませんが、進捗状況や中間時点での見直し内容を市公式ウェブサイトにて掲載し情報公開を行います。	C	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。